

令和2年度「亘理町地球温暖化対策実行計画」取組結果

亘理町は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「亘理町地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。

令和2年度における取組の結果は以下のとおりです。

1. 亘理町地球温暖化対策実行計画の概要

平成20年度二酸化炭素排出量を基準値とし、6パーセントを削減目標としています。

対象	基準値	削減目標	目標値
二酸化炭素	4,026,003 (kg-CO2)	-6%	3,784,442 (kg-CO2)

2. 計画目標の達成状況

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	基準値	令和2年度実績	削減量	削減率
	4,026,003	2,435,696	▲ 1,590,307	▲ 39.50%

温室効果ガス排出量は基準値と比較し39.50%減となり、目標を達成いたしました。

しかし、東日本大震災以前の基準値との比較であることから、被災し減少した施設等も含まれた基準値との比較となっています。

3. 前年度との燃料別二酸化炭素排出量比較

排出要因	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			増減率
	令和元年度	令和2年度	増減	
電気	1,843,495	1,959,772	116,277	6.31%
灯油	142,076	203,904	61,828	43.52%
A重油	0	0	0	0%
ガソリン	64,060	56,898	▲ 7,162	▲ 11.18%
軽油	14,845	8,553	▲ 6,292	▲ 42.38%
LPガス	229,433	206,569	▲ 22,864	▲ 9.97%
合計	2,293,909	2,435,696	141,787	6.18%

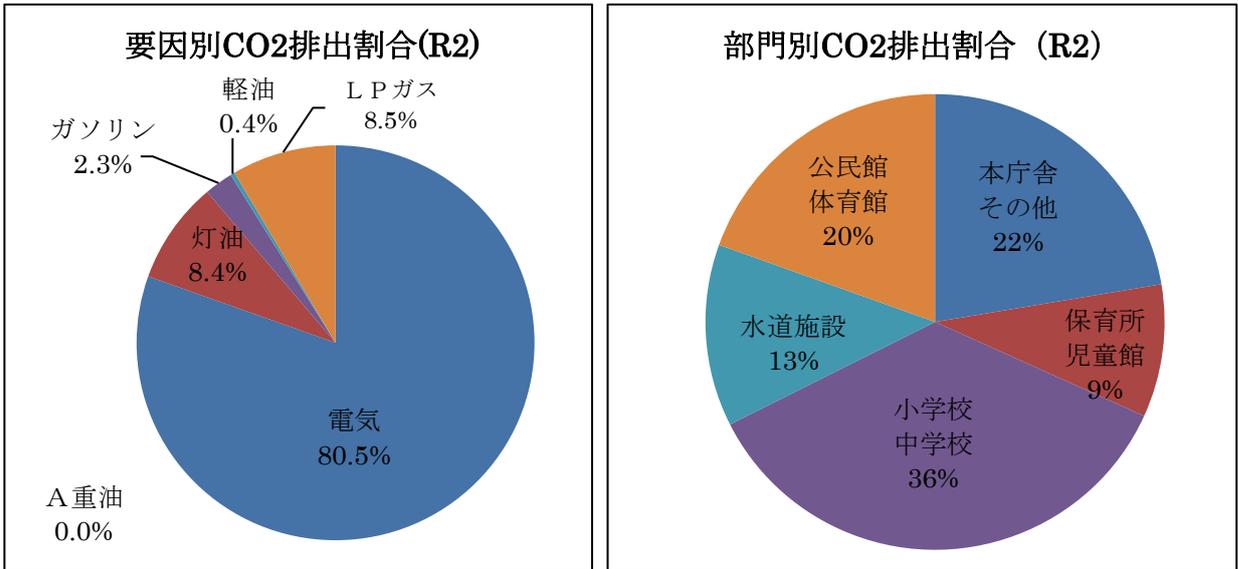
二酸化炭素排出量の削減率が平成20年度二酸化炭素排出量の基準値と比べ39.50%減となっています。また、前年度との比較では二酸化炭素排出量は6.18%増となっています。

要因の一つとして、令和2年1月より新庁舎での業務が開始され、旧庁舎と比べ敷地面積が増え、電気使用量が増加。

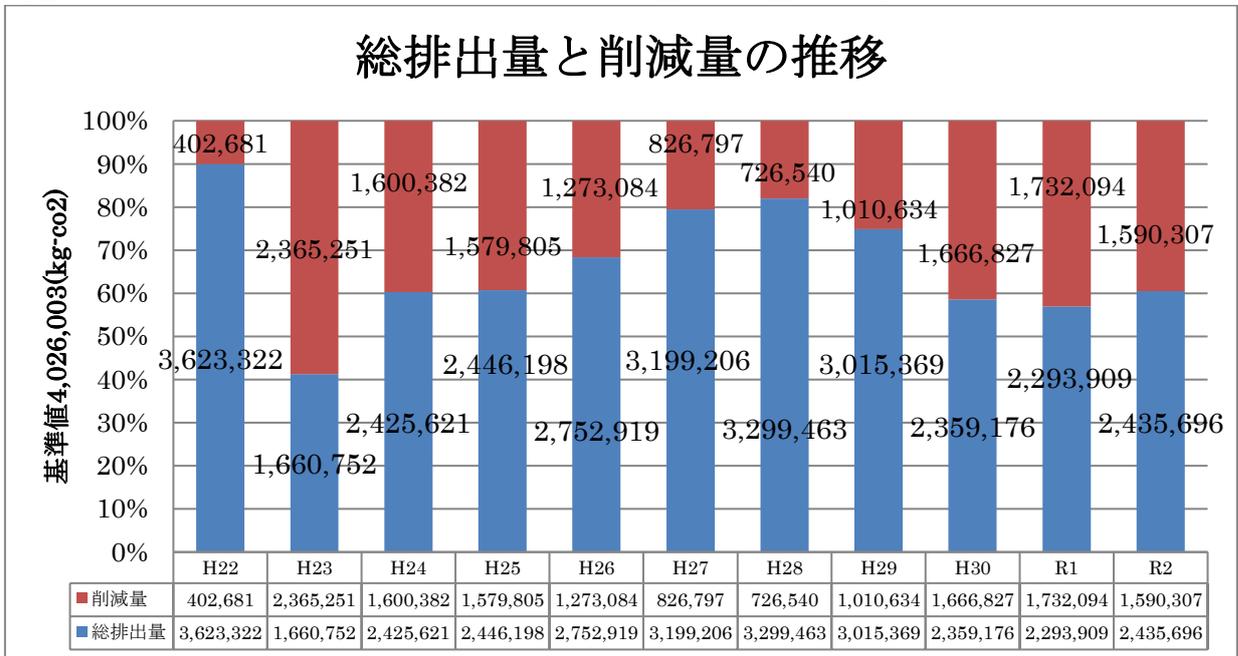
また、新型コロナウイルス感染防止のために、各小中学校では換気をしながら暖房器具を使用したため灯油使用量が増加したことが挙げられます。

排出要因別では、電気(80.5%)、LPガス(8.5%)、灯油(8.4%)の3項目で全体の約97%となっており、各施設の職員一人ひとりが節電・省エネルギーなど環境に配慮した取組みを意識することがさらに必要と考えられます。

【部門別・要因別CO2排出割合】



【基準値を100%とした場合の二酸化炭素総排出量と削減量の推移】



【基準値に対する各年度の削減率の推移】

